

JR東日本 信越線における事案の検証結果と再発防止策

参考資料

平成30年1月19日

検証のポイント	検証結果	再発防止策
<p>1. 利用者保護関係</p> <ul style="list-style-type: none"> 乗客の救出のための措置(バス等の代替輸送機関の手配等)をとることがなぜできなかったのか。 	<p>運行再開を優先し、乗客の救出に関する対応が不十分であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各駅から及び支社から各バス会社に要請したが、乗務員手配及び吹雪による視界不良等により、<u>夜間帯の手配ができないと断られた。</u> 駅にしかバスを手配しなかったため、列車が駅に到着するまで車内の乗客を救出できなかった。 タクシーについては、物資輸送には利用したが、乗客が多かったため、乗客輸送としての利用は検討しなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 運行再開と乗客救出の対応を並行して行うことを徹底する。 降雪等の事案に備え、あらかじめバス会社や関係機関等との間で緊急時のバス手配(広域の応援体制等を含む)や除雪作業等について取り決めておく等の協力体制を至急整備する。 駅における全員の同時救出に拘らず、<u>途中区間でのタクシー等による一部救出も選択肢に入れる。</u>
<ul style="list-style-type: none"> 警察、消防、自治体等、関係機関に対する救援の要請が適切に行われたのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 急病人発生時の消防への協力依頼等は行ったが、それを超えて、<u>一般の乗客の救出のための関係機関への救援要請は行っていなかった。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 自社内で救出が困難と判断した際は、列車が止まった段階で警察・消防への協力を要請。 自衛隊の災害派遣も念頭に、<u>県等の行政機関に早めに情報提供し、乗客の救出や一時収容箇所に関する自治体との連携を図る。</u>
<p>2. 運行関係</p> <ul style="list-style-type: none"> 乗客に対する情報提供や支援は適切に行われていたのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 当該列車の車掌が、繰り返し(概ね10分程度の間隔)、車内放送や巡回によるお声かけを実施した。 除雪の進捗状況は説明していたが、<u>除雪終了時刻や運転再開の見通しに関する情報を提供できていなかった。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 作業の進捗状況だけでなく、<u>復旧や救出の見通しに関する情報も提供する等、乗客に対する情報提供の充実を図る。</u>
<ul style="list-style-type: none"> 除雪車の出動が円滑にできなかったのはなぜか。大雪に備えた事前の出動準備等の方策がとられるべきではなかったか。 駅間停車に至るような状況で、列車を出発させた判断及びその前提となるルールの妥当性如何。 	<ul style="list-style-type: none"> 当日の夜(営業列車終了後)にラッセルでの除雪を計画していたが、降雪状況等を踏まえ、ロータリー除雪に変更。安全確保のための手続き(線路閉鎖等)に一定の時間を要した。また、過度の負荷による部品交換、降車した乗客の安全確保のため、作業が一時中断した。 当日16時の対策会議(新潟支社)では、<u>気象情報会社からの事前予報、当時の各線区の積雪状況から、運転の支障はないものと判断した。</u> 東光寺踏切で非常押しボタンが押され、安全確認のため一旦停止。その際、進めると判断し、列車を動かそうとしたが、雪を抱えて停止。さらに、土江踏切で安全確認のため一旦停止。その際、進めると判断し、列車を動かそうとしたが、雪を抱えて停止(踏切付近での後退は、踏切監視要員が必要なため、判断せず)。 	<ul style="list-style-type: none"> ふだん降雪量の少ない当該区間において、夜間の運行終了後だけでなく、日中についても、除雪車の運行ができないか、試行を行う。 列車を前に進めようとした時に、雪を抱えて停車した状況を考慮し、除雪作業と並行して、退行運転を行うための措置(退行時の踏切監視要員の確保等)を検討。 降積雪の状況等に応じ、極力、列車が駅間に停止することのないよう、列車の運転を見合わせる等の適切な措置をとる。 今後、以下についても検討。 <ul style="list-style-type: none"> ○当該区間での降雪時の列車巡回強化 ○当該区間への雪況カメラの設置